

進捗報告書（実行団体）

事業名: KOUFUKU（工・福）連携の創造
資金分配団体: プラスソーシャルインベストメント株式会社
実行団体名: 社会福祉法人 南山城学園
実施時期: 2021年6月～2022年3月
事業対象地域: 京都府
事業対象者: コロナ感染で離職対象となった就労支援が必要な人

Version 1.2

日付: 2021年10月01日

I. 事業概要

事業概要
コロナ禍でより深刻化しているアディクションを含めた働きづらさを抱えた人々の状況を先端技術との融合で新たな仕事を創出する。協働型ロボットを活用することで、福祉事業所の抱えるこれまでの構造（低価値商品の製造—低工賃）を変化させ、新たな構造（高付加価値商品の製造—高工賃）を生み出す。ロボットによる商品製作の周辺に多様な業務が創造でき、多彩な人々の能力を活用できる。また、事業のプロセスで地域の中小企業との連携や自治体事業との連携により、単なる高付加価値モデルでなく、地域に貢献する、地域の担い手として実感できるモデルづくりを行う。

II. 進捗報告の概要

総括
コロナ感染症による緊急事態宣言が、当初予定より延伸したことにより、プロジェクト会議やワーキングの開催が、当初予定通り進められていない。10月の緊急事態宣言解除により、会議等がスタートしているが、全体としては遅延気味である。加えて、全世界的に半導体不足が進行しており、協働型ロボットの設置に影響がでると予想されている。こうした状況ではあるが、一定の目標達成に向けて進めていく予定である。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①モデルの確立 ②工賃の向上にメドがついている状態 ③標準化に向けたノウハウや情報整理ができている	①-1実施する場所やスキームが完成に向けた事業所見学等を実施している ①-2具体的な作業工程、特性に応じた作業分解を行うため、プロジェクト会議とワーキングに振り分け実施している。 ②経営計画、工賃支払計画の作成に向けては、①-2と同様 ③標準化記録の完成については、①-2と同様

活動	進捗状況	概要
①協力者と事業構築会議を実施 ②高付加価値の製造物の検討、地域の中小企業との対話 ③ロボット設置場所の検討 ④作業工程の分解 ⑤作業訓練 ⑥テスト実施 ⑦ノウハウの記録、標準化作業	遅延あり	①～③に向けて、プロジェクト会議を開催している。また、設置に向けて実地見学並びに協働型ロボットを視察した。10月より、設置に関するワーキングチームをスタートしており、定期的に開催して計画を進めていく予定であるが、当初予定より1～2ヶ月程度の遅れが見込まれている。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
テクノロジーを活用し、働きづらさを抱える方々の就労モデルが提示できる状態を確立します。特に、コロナ禍でB型就労支援の現場が中心としてきた加工を中心とする食系の作業だけでなく、より高付加価値の製品もしくは半製品の製造を受注できることで、工賃を10万円支払えるモデルを提示する。 2年以降の目標：ノウハウや経験を標準化し、多くの施設が活用できる状態を作り出す。23年までに5件程度の技術移転を行いたい。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
補足説明						

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

コロナ禍において、全世界的に半導体不足が発生しており、設置予定の協働型ロボットの搬入状況に遅延が発生する可能性がある。

VII. その他

自由記述

特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	有	ホームページにプロジェクトを掲載
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	